

三和こども学舎体操通信（12月号）

今月は、発表会が無事終わり一カ月ぶりの体操教室でした。

各クラス、年内最後の月ということもあり普段とは違う運動遊びを多く取り入れたメニューを行いました。そのメニューの中でもすみれ組・三くみクラスはチームで行う「コーン取り」さくら組は「ネズミ捕り」を行いました。

「コーン取り」では鬼（先生）が守るコーンのお宝を鬼に捕まらずに取るゲームで、チーム内で作戦を立てたり、ゲームの中で指示出したりなど考えながらゲームに取り組む姿が多くみられました。このゲームには鬼の位置を見て自分の動きや場所を決める能力、成功できるようにチームで作戦を立てたりなどの頭を使う能力、動く方向などを素早く切り返す能力など、スポーツをするときにとても必要になってくる能力が刺激できます。

「ネズミ捕り」では縄跳びをしっぽ代わりにして猫（先生）にしっぽを踏まれないように逃げるゲームです。しっぽがとても長いので気付いたら踏まれたりします。そのため、長いしっぽに意識を向けながらも猫の位置を気にしたり、周りの子とぶつかったりしないように目を配る必要があります。これには、常に周囲を確認する能力や見えない場所にあるものを意識する能力が刺激されます。みんな、夢中になって体を動かしていて、夢中になっている時が一番刺激が強い時間なのでこれからも楽しく活動していきます。

◎体操教室の様子

さくら組



すみれ組



三くみ



◎ばら組

発表会が終わり1ヶ月ぶりに体操教室を行いました。

今月からさくら組に向けてマット運動を取り入れています。

また、さらに大幹を刺激するために全身運動のトランポリンや飛行機基本運動を回数重ねて行っています。

ジャンプ運動では今まで1回1回止まっていたジャンプも連続でジャンプできたりと足首から膝、膝から上半身へと少しずつ力の移動ができてきているのかなと思います。意識しながら練習することはとても難しいのでサーキットなど沢山の動きを遊びを通して行うことで楽しみながら

たくさんの力を身につくようにこれからも活動していきます。

